

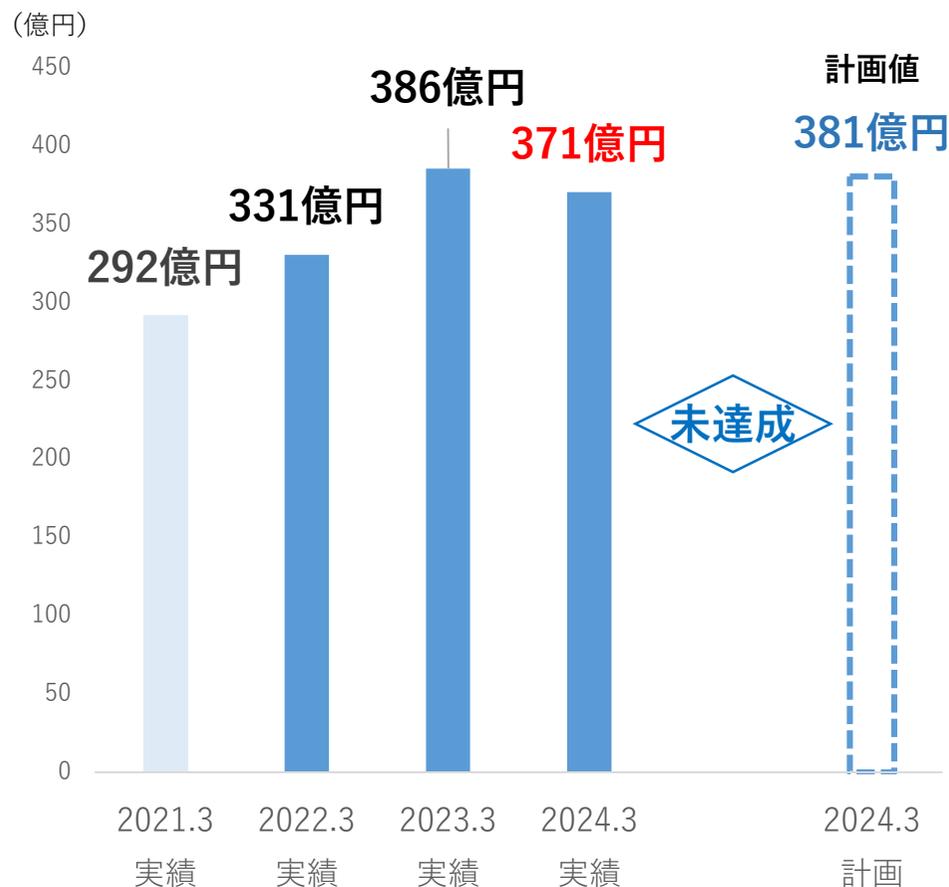
前中期経営計画の振り返り

(2022年3月期—2024年3月期)

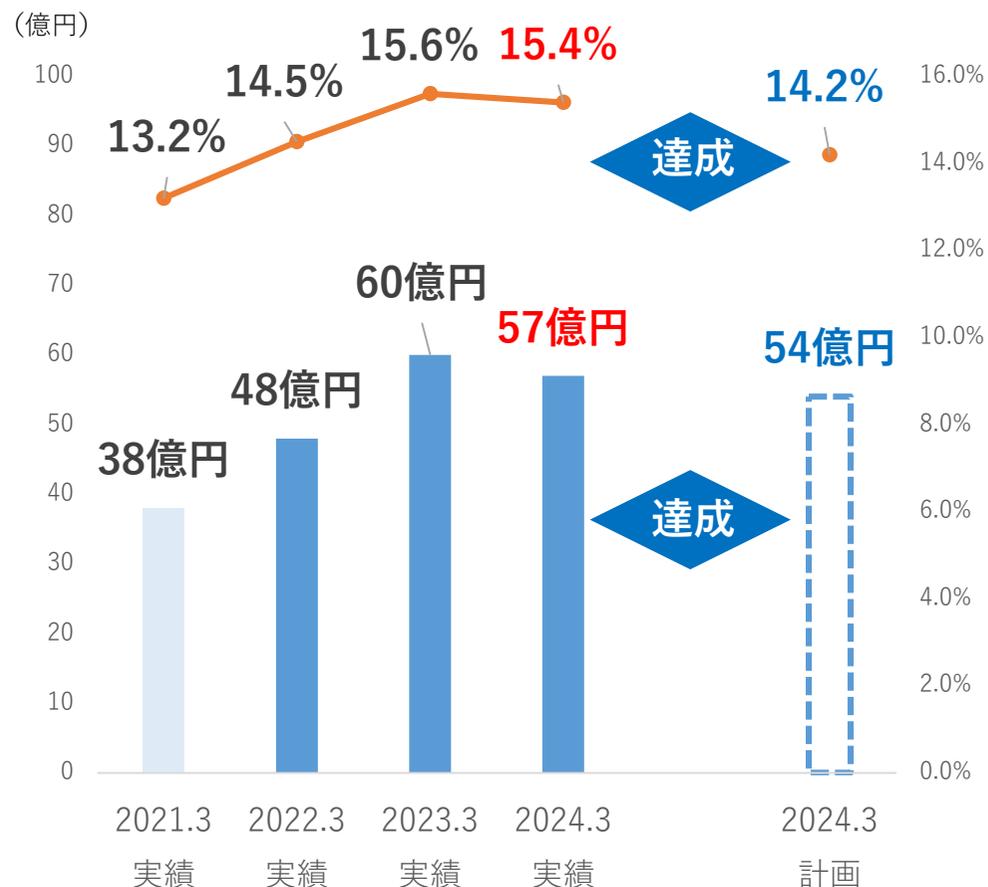
前中計の振り返り

最終年度業績は半導体市況の影響で売上高は未達も、営業利益・営業利益率は達成

売上高



営業利益・利益率



* 2021年3月期の売上高のみ、「収益認識に関する会計基準」適用前の数値

前中計の振り返り（セグメント別）

分析機器事業

計画達成

コロナ禍の影響を受け、中国での拠点設立は一部延期。ジーエルサイエンス単体での海外売上は拡大するも、計画達成には至らず。（海外売上計画3,500百万円→実績3,009百万円、構成比率22.6%→17.3%）

半導体事業

売上高以外は計画達成

2023年3月期に過去最高の売上高20,003百万円、営業利益4,068百万円に到達するも、2024年3月期は市場トレンドの影響で減速。中国第3工場は2021年11月に竣工。順次設備を導入し生産能力拡大。

自動認識事業

計画達成

電子部材の供給難の影響を受けた時期もあったものの、売上高は計画通りの着地。提携企業とのコラボレーションの積極的な推進を開始。

(単位：百万円)	2021.3 実績	2024.3 計画	2024.3 実績	計画 達成率
分析機器事業				
売上高	15,246	17,410	18,281	105.0%
営業利益	1,455	1,740	1,962	112.8%
営業利益率 (%)	9.5	10.0	10.7	—
半導体事業				
売上高	12,732	18,940	17,029	89.9%
営業利益	2,446	3,590	3,615	100.7%
営業利益率 (%)	19.2	19.0	21.2	—
自動認識事業				
売上高	1,238	1,810	1,836	101.4%
営業利益	△54	90	134	148.9%
営業利益率 (%)	—	5.0	7.3	—

前中計の成果と課題

	成果	課題
分析機器事業	クロマトグラフィー事業の持続的拡大 <ul style="list-style-type: none">・ 海外売上高の増加・ カーボンニュートラル関連装置の販売増加・ 消耗品の堅調な推移	持続的拡大のための重点課題 <ul style="list-style-type: none">・ 成長ドライバーである <u>海外市場の更なる開拓</u>・ <u>製品ポートフォリオの拡充</u>・ <u>販売インフラの強化</u>・ <u>EC販売の拡張</u>
半導体事業	製造技術や従業員スキルの強化および生産能力の増強 <ul style="list-style-type: none">・ 半導体産業向け石英製品製造における技術改善や開発ノウハウの育成・ アイシンテック社を子会社化・ 中国第3工場の竣工および稼働	受注増加に向けた経営基盤の強化 <ul style="list-style-type: none">・ 需要の増加に伴う <u>製造能力の不足</u>・ <u>熟練技術者の不足・自動化のさらなる強化</u>・ <u>収益基盤の強化</u>・ 独自技術による <u>差別化</u>
自動認識事業	ビジネス機会の拡大および収益性の改善 <ul style="list-style-type: none">・ 分析機器事業の手法を取り入れパートナー企業との提携活動を促進・ 営業部門と技術部門の協働促進によりセキュアマイコン搭載モジュール等をリリース	技術面における対応強化 <ul style="list-style-type: none">・ 基盤技術を用いた製品の <u>更なる拡販</u>・ 最新の <u>技術トレンドの取り込み</u>・ 事業拡大を見据えた <u>人材の採用・育成の強化</u>